

総務常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和7年8月22日（金） 第2委員会室
2. 出 席 委 員 五島誠委員長 松本みのり副委員長 谷口隆明 横路政之 堀井慎一郎 桜田亮太
3. 欠 席 委 員 なし
4. 事務局職員 植木佳那子議世事務局主事
5. 説 明 員 なし
6. 傍 聴 者 1名（うち議員1名）
7. 会議に付した事件
 - 1 所管事務調査について
 - 2 その他

午前10時00分 開 議

○五島誠委員長 ただいまより総務常任委員会を開催いたします。ただいまの出席委員は6名であります。よって直ちに本日の会議を開きます。本日の会議におきまして傍聴、写真撮影、録音、録画を許可いたしております。

1 所管事務調査について

○五島誠委員長 それでは協議事項1点目、所管事務調査についてです。先般、7月25日それから8月8日の委員会の中で、現在の市の状況を確認しようということで管財課、財政課及び総務課を呼んで説明を受け、質疑を交わしたところでございます。本日は、それを受けて今後どうしていくのかというところをそれぞれ御議論いただければと思っておりますので、よろしくお願いします。まず、一つずつやっていこうと思うのですが、公契約条例についてということで、こちらから質問事項を3点挙げて質疑を交わしました。総務常任委員会のフォルダの中に摘録を入れていただいておりますので、こちらも御準備いただければと思います。表示されていない方は更新をしたら表示されると思いますので、そちらを御一読ください。それでは、ここからは7月25日の委員会を受けて総括、並びに次の展開というところで、委員の皆さんの御意見をいただきたいと思います。横路委員。

○横路政之議員 公契約条例は摘録にあるとおり、いろいろな質問に対して答弁があったのですが、答弁があったことについて当事者というか、そういった方たちの現場の声を聞きたい。そこがあるのかどうか聞きたいと思っているので、今後の展開にそれを入れてもらえればありがたいです。

○五島誠委員長 これは参考人招致ということになるかと思うのですが、具体的にどういった方をお招きするかという案がもしあれば、今お伺いしておきたいと思います。横路委員。

○横路政之委員 コンサル会社が庄原市に3社あるのですが、3社の代表の方の意見を聞いてみたいと思っています。

○五島誠委員長 それからそのほか、例えば工事契約でいいですと以前は建設業組合、あるいは安全協会の代表の方をお招きして、この公契約条例をつくる際にお話を数回聞かせていただいた例もござい

ます。また、物品調達の部分等には、参考人という形でお招きしてはいないのですが、指定管理の関係で、保育所の指定管理を受けられている業者の方々をお招きした例も以前にはあったかと思っています。まずは、特に前回の委員会の中で議論になった設計・測量コンサル業務の地元3社の方々と調整したらどうかという御意見でよろしいですか。これについては、来月から議会が開会ということもございますし、相手方もあることですので、委員会の中で少し方法等も含めて調整をかけて、秋頃の実施ができればと委員長としては考えますので、そうした流れで少しお時間をいただきたいと思います。他にありますか。また新たに調査したいところが出てきたら、またおっしゃっていただきたいと思います。私から1点、調査というか学習も含めて理解を深めていければと思うのが、現在、皆さんも御承知のようにPFIであるとか、民間との契約の中で様々な契約の形態が出ています。新たにはPFSといった手法、内閣府もそうした手法を強力に推進するために、そのための特別な室を設けたりということもございます。この委員会の中で、まずはこういった契約のやり方があるのか。庄原市はこれから、今までどおりではなくて進化していかなければいけないと思いますので、勉強会といいですか、理解を深める調査をしていくことも必要なのではないかなと思いました。また随時、座学も含めて検討していきたいなと思っておりますので、御承知おきください。そのほか皆さんから何かございますか。堀井委員。

○堀井慎一郎委員 先日の聞き取りの際にも各委員から、公契約条例を定めて守るべき部分、人件費の部分とか、一人親方と呼ばれる大工さんとか、そういう方への賃金がきちんとできているのかという質問があったかと思うのです。私も質問したのですが、100%から最低価格を決めるときに、人件費とかは100%で見てやるけれども、入札の際にはトータルで最低制限価格を上回っていればオーケーで、例えば人件費を0.9にしても一般管理費などが膨らんで、最低制限価格を上回っていればオーケーと。そのあと人件費についてどうかというところは、加味せずに落札者を決めるというお話であったかと思います。公契約条例を持っている意味としては、やはり下請や従業員の賃金という部分が適正な価格で支払われているのかというところは、見ていかななくてはいけない項目になってきようかと思います。可能であれば、そういった大工さん、一人親方と呼ばれるような方等からも、少しお話を聞くことができれば実態をより把握できるのかなと思うところです。

○五島誠委員長 そうしましたら、こちらについても以前、建設労働組合の方々を参考人招致で招いた例がございます。まずはそうしたところをあたりながら、横路委員の提案の中にもあったように庄原市で働く方の実態も含めて、公契約条例の中で覆わせていただきたいと思います。どういう順番とかどういう時期になっていくかは、それぞれ相手方の都合等も含めてやっていきます。一つずつ丁寧に状況をつかんでまいりたいと思います。一人親方であるとか、そうした方々の賃金状況といいますか、庄原市の契約において発生するところも含めて、それがメインではありますけれども、市内の実態をつかんでまいりたいという中で、そうしたものを入れていきたいと思っております。この公契約条例については新しい契約方法を学習していきながら、まず一番大事なのは市内の状況、そして市民の皆さんの賃金を守るという言い方が正しいかどうかは別にして、しっかり確保していくという観点です。まずは市内業者の方々との意見交換なり、意見聴取を行う中で、今の公契約条例の在り方について調査をしてまいりたいと思っております。スケジュール等については随時ということになろうかと思いますが、そうした形で民間の皆さんの御意見も伺いながらやっていきたいと思っています。そういった方針で、今後調査を深めてまいりたいと思いますけれども、そのほか皆さんから何かありました

らお伺いしたいと思います。よろしいですか。それでは、9月議会中にどのようなスケジュールですかを委員会の中で検討して、先ほど申し上げたように、秋から随時そうした民間の方々をお招きするという、参考人招致になるのか、少し非公式な形の意見交換という形をとるのか、いろんなやり方があるかと思うので、相手方とも少しずつ協議を始めたいと思います。よろしくお願いします。続いて財政運営についてのところで、前回の委員会の総括、そして今後の展望について委員の皆さんから意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。副委員長。

○松本みのり副委員長 前回、財政課をお呼びしての聞き取りの中で、令和6年度の決算見込みよりよくはなっているけれども、その要因についてお伺いしたところ、庄原市の独自の努力によるものではなくて、国からの交付金なりが増えた部分によってよくなったと。依然厳しい状況は続く予想であるというお話でした。財政調整基金、市の貯金を毎年5億円ずつ切り崩していくような財政計画が出ていたので、それについてどこか参考になるものがないだろうかと思っていたのですけれども、広島県の府中市が同じように毎年5億円ずつ財政調整基金を取り崩され、令和8年度中には貯金がゼロになってしまうのではないかとということで、今年の2月には市民に向けての財政説明会なども開かれて、本当にゼロベースからあらゆる事業の見直しとかをされています。府中市の取組について皆さんと一緒に学んで、庄原市に生かせる部分、もう2年後には財政調整基金がなくなりますという状況にならないための参考事例を見られたらと思うのですけれども、皆さんいかがお考えでしょうか。

○五島誠委員長 谷口委員。

○谷口隆明委員 今、副委員長がおっしゃいましたように、府中市でかなり大がかりな行財政改革計画をつくって取り組まれています。その考え方とか取組状況を学ぶことはいいと思います。例えば100歳になった祝い金を削るとか、本当にこれが市民にとってどうだろうかというのはたくさんあるので、そういうことも含めて全体像をつかむために学ぶのはいいと思います。資料も十分あるけれども、行って聞くのが一番いいかもしれない。計画書がホームページに全部出ています。

○五島誠委員長 副委員長。

○松本みのり副委員長 計画書なども出されているので、まずは皆さんと一緒にそちらを読みながら疑問点等を出しつつ、その上で府中市にどうしてもここは聞いてみたいというものが出てきた場合には、実際に御相談したいと思いますがいかがでしょうか。

○五島誠委員長 まずは9月の委員会の中で資料をしっかりと出させていただいて、それをみんなで学習する会をさせていただくのもいいのかなと思います。副委員長がおっしゃったように、しっかりそこで深めて、これが気になるというポイントが幾つか出てくると思いますので、そういったものを絞った上で、実際に府中市の担当者の方にお話を聞くという流れで行ったほうがよりよいのかなと思います。いきなり行くというよりも、そうした形にしようかなと思いますので、こちらについても少しお時間をいただきながら、調整させていただければと思います。府中市は隣の町でもございますので、比較的アポイントは取りやすいかなと。また私たちも伺いやすいかなと思いますので、そこらについては検討していきたいと思います。そのほか皆さんから何かございますか。桜田委員。

○桜田亮太委員 副委員長が言われた内容、確かにそういった形で研究をするべきだと思うのです。一方で今、庄原市の財政状況で、確かに無駄な部分とか必要ないところは当然削減をしながら財政調整基金の行方を見ていかないといけないのですけれども、この物価高の時代に、いろんなところに充てている財源が全く無駄だったり、多かったりという部分がたくさんあるわけでもないと思います。そ

こら辺も考えたら、その財源自体をどう確保していくかを並行して考えていくことも大事なのではないかと思いますので、そこもあわせていけたらなと思っています。

○五島誠委員長　先ほど桜田委員より御意見がありましたように、財源の確保も一つの視点として、私たちも持っていきたいと思っております。これについては皆さんのほうでも、いろんな各地の事例等もあるかと思いますが、そうしたものを深めながら、実はこの後皆さんにお諮りしようと思っておりましたが、本年度の行政視察でそうしたところをピックアップして行かせていただければどうかかなと。先ほど桜田委員が言われた財源の確保の視点、要は切り詰めるといいますか、そうしたところも一つ考えながら府中市の例に学び、今後、この2本の柱をもって財政運営について調査を行ってまいりたいと思っております。皆さんにも御承知おきいただきたいと思います。横路委員。

○横路政之委員　財源を見出すということになると、大きいところは結構ふるさと納税、億単位で来ているところもある。儲けるというか、財政に大きなインパクトがあるというのはそこら辺しかない。これも加味しながら、視察先でもしいいところがあればと思いました。

○五島誠委員長　視察先について、財源の確保と一口に言ってもいろんな観点がありますし、新しいものもあると思いますので、皆さんに随時いろいろ御相談をしながら、時期も含めて検討を加えたいなと。ただ、時期的なところでいいますと、10月、11月に市民と語る会を設けて取組を進めていこうと思っております。それぞれ皆さん班も違いますので、多分すごく日程調整が難しくなる可能性が高いです。そういったものも見ながら検討させてください。場合によっては年明けに行政視察ということも考えないといけないのかなと。本来だったら秋に行くのがいいのかなと当初思っておりましたけれども、日程的なところを加味すると、年明けに今年度の行政視察を行うというのが濃厚かなと現在のところ思っておりますので、お知りおきいただきたい。そのほか財政運営について皆さんから御意見ありましたら伺いたいと思います。谷口委員。

○谷口隆明委員　長年、財政を見てきて、毎回、財政推計で財政調整基金が厳しいとか、毎年7億円、8億円足りないと言われるのですけれども、そのとおりになったことはないのです。常にそれよりは、なぜかいろんな状況でいい方向に転んでいるので、あんまりこの財政調整基金がなくなるということではなくて、この前の委員会の提言にあったように歳入の確保。それから歳出で、確かに物価高騰で物件費とか補助費とかいろいろ上がっているのですけれども、前の委員会の提言の中で、どのように削減するか検討すべきというのがあるのです。そこら辺も非常に難しい問題ですけれども、委員会とすれば、どこが削減できるかということを先ほどの府中市の例も含めて考えていかなければ、歳入の面だけでは不十分だと思います。両方合わせていくべきではないかと思います。

○五島誠委員長　そのほか御意見ありますか。では、先ほど申し上げた2本柱で、この財政面について調査を進めてまいりたいと思います。まずは、府中市の状況を学習するというところでやってみよう。それでは続きまして、8月8日の総務課の説明と質疑を受けての総括、そして今後の展望ということで、こちらについてはつい先日ということもございまして、まだ摘録が上がっておりませんので、そうした中で総括なり、今後のことについて皆さんから御意見を伺いたいと思います。いかがですか。委員長としては、現在この委員会の中で三つの調査項目を挙げておりますが、三つ全てを並行してやっていくのは、なかなか難しい部分もあります。前回の総務常任委員会の中でしっかりと特定事業主行動計画について意見をされ、それを受けての執行者の対応をこの間、聞かせていただいたわけですが、この課題については、様子を見るというわけではないのですが、庄原市の状況がま

たこれから変わっていくと思いますので、都度都度追わせていただく中で進めていくのがいいのかなと。こちらから何か、こうしたことをしたほうがいいのではないかという提案をしていくというのは少し時期的にも難しいのかなと感じているところです。そうはいっても大事なことです、委員の皆さんから、これはどうかということがありましたらお伺いをしたいと思います。いかがですか。堀井委員。

○堀井慎一郎委員　　今、委員長が言われたように、働き方改革についてという項目で調査ということになっておりますし、先日の総務課からの説明の中にも、第3期の特定事業主行動計画の中で新たに追加された取組なども説明をいただいています。それと先ほどの財政計画なりというところも絡む部分があると思うのです。職員がいないからしんどくなっていますし、今の職員数に対して業務量がどうなのか、業務量を絞ることで財政的にも絞っていくことにつながっていく、財政計画を考える上でもそういった事業仕分をしていくという面では、現在の体制での執行状況、実際にやっていけるのかというところも視点としては入ってくるのではないかと思います。その辺りの部分も少し見据えながら、既に前期の一次試験の結果も出ています。後期試験については今までより枠を広げた形でやるという状況もありますので、職員採用も経過を見ながらでよろしいかなと。

○五島誠委員長　　少し経過を見ていくというところで、暫時休憩します。

午前10時26分　　休　　憩

午前10時28分　　再　　開

○五島誠委員長　　休憩前に引き続いて会議を再開します。先ほど休憩間に、庄原市役所の一年間のある程度の動きと伺いますか、そうしたものについても加味しながら経過を見ていくべきではないかというところがありました。当委員会としても、約半年に一回ぐらい経過を見ていくという流れで今後進めていけばいいかなと思っておりますので、よろしくお願いします。そのほか皆さんから何かあります。よろしいですか。では働き方改革については、そうした流れで進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。では所管事務調査は、今後の展開について先ほどいろいろ意見を言いましたけれども、ある程度先方との調整とか、資料集めとか、そうした期間も必要になってくるかなと思いますので、9月議会の開会中に皆さんと調整しながら進めてまいりたいと思います。よろしくお願いします。以上で所管事務調査については閉じたいと思います。

2 その他

○五島誠委員長　　二つ目の協議事項、その他の項、お持ちの方がいらっしゃいましたらお伺いしたいと思います。よろしいですか。次回委員会については、現在9月議会の日程が出されておりまして、その中で9月17日が、付託議案があるかどうかは別にして委員会の設定をいただいております。そのときに委員会を開きたいと思っておりますので、次回開催は9月17日で思っていたければと思います。ただ、開会中でもございますので、例えば執行者から急遽説明いただきたいこと等が出ましたら、その都度開かせていただくということになろうかと思います。よろしくお願いします。また、直接、

総務常任委員会ではございませんけれども、予算決算常任委員会の中で決算審査が、この常任委員会ベースで総務分科会という形で今度行われていきますので、そちらもあわせてよろしくお願いします。先ほど言いました資料集め、それから先方との協議等々については、委員長・副委員長に御一任いただき、また都度皆さんに説明をしたいと思いますので、よろしくお願いします。以上で総務常任委員会を閉じさせていただきます。お疲れさまでした。

午前10時31分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

総務常任委員会

委 員 長